

2 学校関係者評価の結果と学校評価のまとめ

領域	学校関係者評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	学校評価のまとめ
学校経営	(1)ホームページの更新は素晴らしい。校長ブログも読んでいる。 (2)入学してよかったと考える生徒の割合が、学年によってちがう。 (3)保護者からのアンケート回収率が78%という数字は素晴らしい。 (4)危機管理に関して、生徒が危険に注意をはらっていると考ええる職員と、自分は注意を払っている生徒の割合に相当の差がみられるのは、職員がよく考え、指導しているからこそでくるものである。 (5)福祉のニーズが高いので、福祉教養科のクラス数を増やすとか、普通科でホームヘルパーをとれるような配慮をしてもらいたい。 (6)校舎内はとてもきれいである。	(1)地域に開かれた、信頼される学校にするため、これまでとおりホームページ、校長ブログの更新頻度を維持するとともに、校長ブログ、学校だより（保護者、地域向け）を発行していく。 (2)学年によってもちがうし、普通科と福祉教養科、男子と女子によっても異なる。生徒一人一人に目を向け、入学してよかったと考える生徒、入学させてよかったと考える保護者の割合が高くなるよう、すべての職員が努力していく。 (3)配付プリント等が、必ず保護者のもとへ届くよう、今後も根気強い指導をしていく。 (4)安全・安心な環境をつくるため、今後も定期的な施設・設備の点検を行い、破損箇所があった場合は、すみやかに対応していく。 (5)県立高等学校改革推進プランにより、平成25年度より、普通科に福祉コースを設置することが決まっている。今後、本校ならではの教育課程を3月中旬をめどに編成していく。 (6)清掃活動やボランティア活動をとおして、生徒の意識を高揚させながら、今後も学校として環境美化に取り組んでいく。
学習指導	(1)東部地区で、小・中・高の連携を密にして、生徒の学力を向上させるとともに、教師の授業力を高めていくことが理想である。 (2)生徒にとって、「学び直し」はとても有効なものである。今後は、どのような「学び直し」がなされているのか、みえるようにしてもらいたい。	(1)東部地区の小・中・高校の職員が、定期的に児童・生徒のようすや学力の状況について、情報交換することは有意義であり、実現したい。また、互いの授業を見せ合うことで、教師の授業力を向上させたいと考える。 (2)本校にとっての「学びなおし」がいかなるものか、職員が共通理解し、生徒・保護者、地域の方に明示する必要がある。 (3)生徒が授業に意欲的に取り組み、学習習慣をつけ、学力を向上させることは、本校の大きな課題であり、実現するように手立てを講じていく。
生徒指導	(1)ルール・マナー、頭髮・服装、遅刻指導等については、自己評価のとおりである。 (2)今後も、充実した職員研修会を行ってもらいたい。 (3)生徒が気軽に相談できる体制を整えてもらいたい。	(1)生徒指導について、保護者から多くの意見をいただいた。「もっとしっかり指導すべき」と「指導が厳しすぎる」が混在している。ルール・マナー、頭髮服装、遅刻指導等について、職員はしっかり指導していると考えており、保護者の多くは理解いただけている。また、生徒の多くも守ろうとしようと心がけている。いただいた意見を参考にしながら、さらに保護者、地域の方に理解が得られるよう、指導していく。 (2)職員参加型の校内研修会を企画し、実施することにより、職員の生徒理解のスキルの向上を目指す。 (3)統合1年目と、あわただしい時間が過ぎていったが、生徒にとって相談しやすい雰囲気をつくっていく。
キャリア教育	(1)実にきめ細かな進路指導を展開していて、素晴らしい。 (2)進路指導が充実していると考ええる生徒が少ないのは、就職の求人が厳しく、自分の希望するものがみつかりにくいのも原因の一つではないか。保護者の満足度が64%とかなり高い割合となっている。 (3)就職については、福祉教養科に比べ、普通科は厳しいのではないか。3年間をみとおした指導が必要不可欠となる。	(1)現在の進路指導計画も、3年間をみとおして立てたつもりだが、常に見直しを図り、よりよいものとしていく。 (2)指導計画や実施した説明会やガイダンスについては、進路だよりや学校だよりで情報発信し、明示する。そのことで、進路指導に関する満足度に変化が生じるのでないかと考える。 (3)今後も、職員研修の場を設け、生徒の進路実現に向け、職員として何ができるか、生徒たちに何をさせなければいけないのか等について協議し、共通理解のもと、職員が一致団結してキャリア教育に携わっていく。